

「2021年度教育実践賞」1次審査の結果報告とポスターセッションのご案内

本学会では、初年次教育に関する実践の発展とその成果の普及によって大学教育の改善に資するため、初年次教育の実践例を表彰し、学会内外に広く紹介することとしました。

2021年度は、応募8件の中から以下の4件が1次審査を通過しました。今後、これらの取組みについて、音声付きの資料（または資料）を学会ウェブサイトで公表し、ウェブ上でポスターセッションを実施し、会員諸氏の投票結果をもとに、「2021年度教育実践賞」を決定します。（以下、申請取組み一覧）

No.	申請者	所属大学	取組み名称
1	西谷 尚徳	立正大学	専門学修への移行としての官学連携事業「協働型模擬選挙」の実践
2	光成 研一郎	神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部	チームで学ぶ【入学前教育×初年次教育によるシナジープログラム】の構築 ～入学前から初年次を貫く“まなびのプラットフォーム”～
3	関田 一彦	創価大学	「学術文章作法Ⅰ」を中心とした文章力向上プログラム
4	廣瀬 清英	岩手医科大学	多職種連携のためのアカデミックリタラシー ～PBL ワークショップ「信頼される医療-チーム医療-」（2021年度型）～

今後のスケジュール（予定）

2021年 9月11日	14回大会にて告知
10月上旬	1次審査通過者の資料を学会ウェブサイトにアップ
12月下旬	会員投票
2022年 2月末	委員審査
3月中旬	最終審査の結果公表（学会ニュースレター）
9月	15回大会にて表彰と受賞者プレゼン

2021年8月20日

初年次教育学会
教育実践賞審査委員会
委員長 成田秀夫